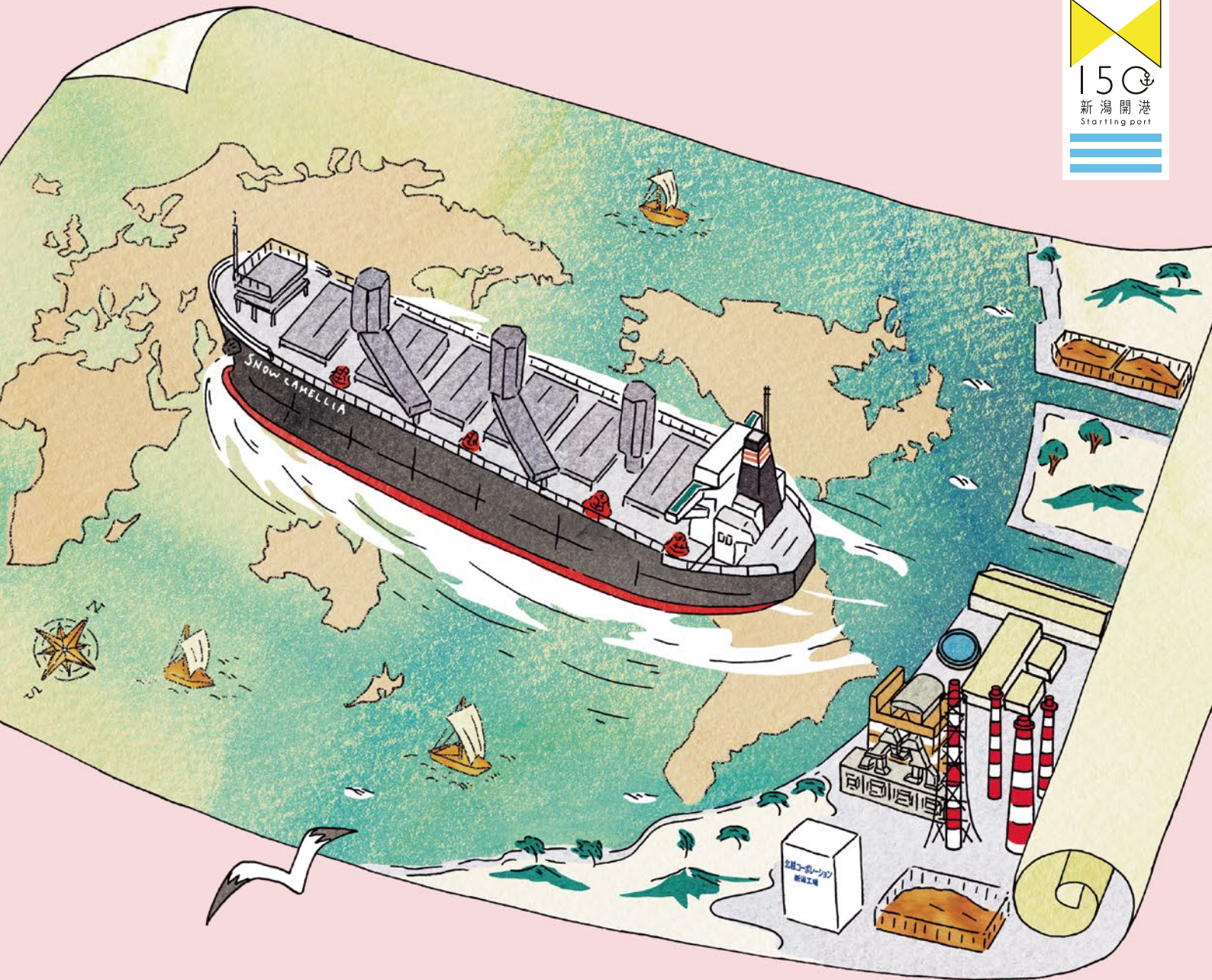


KIN KON

KISHU
ICHIKAWA
NIIGATA
KATSUTA
OSAKA
NAGAOKA

2018
秋冬



北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン♪」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

持続可能な社会をめざして

SDGsへの賛同

2015年の国連総会において、195カ国すべての加盟国によって「持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)」が採択されました。SDGsとは、あらゆる国と地域が、貧困や不平等、教育、環境など17の目標に169のターゲットを掲げ、より良い国際社会の構築をめざすものです。北越グループはこの目標を支持するとともに、グループ企業理念やグループ行動規範の実践を通じ、実現をめざして事業活動を展開しています。

本号では、北越グループの環境の取組みとSDGsとの関わりをご紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



環境分野におけるSDGsへの取組み 北越グループでは、環境に与える影響を最小限にするという「ミニマム・インパクト」の考え方を環境への取組みの基本方針としています。

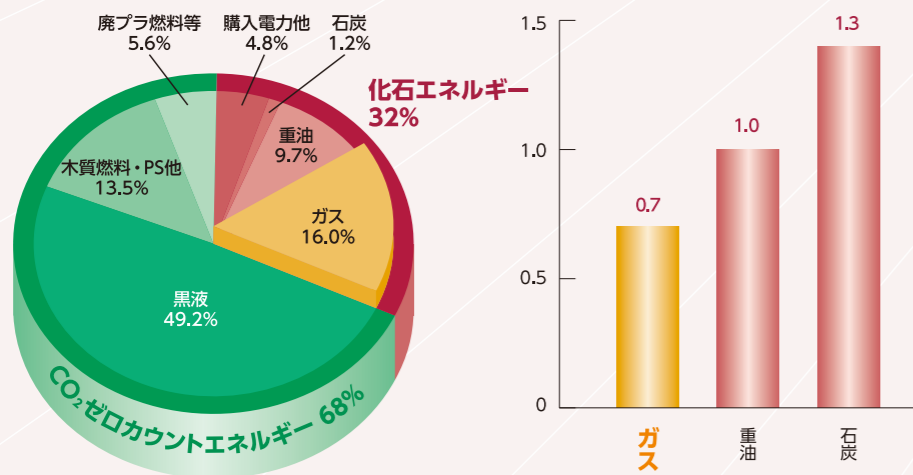


CO₂排出量の削減

気候変動の要因となるCO₂の排出を削減するため、①CO₂発生が少ないエネルギーへの転換、②高効率生産設備の導入、③省エネ活動を着実に実施しています。パルプの副産物である黒液等のバイオマスを含めたCO₂ゼロカウントエネルギーの割合は約70%を達成しています。

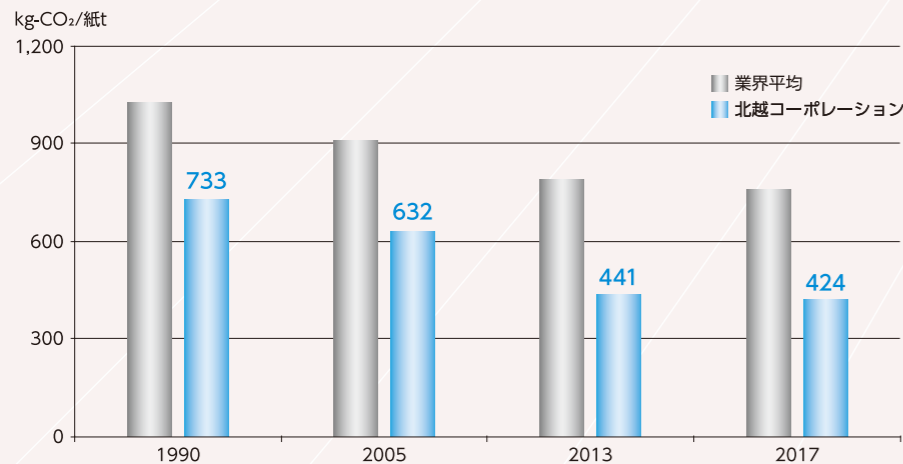
また、化石エネルギーについても、クリーンなエネルギーであるガスの利用を促進しています。2014年の新潟工場におけるガスタービンの導入により、ガスの割合は導入前の10%から16%に増え、CO₂排出量の削減に大きく貢献しています。

北越コーポレーションのエネルギー構成 ■熱量当りのCO₂排出量(重油=1.0)



新潟工場に導入したガスタービン

CO₂排出原単位の推移



【パリ協定とSDGs】

2015年12月にパリで開催されたCOP21*では、各国が2020年以降の温室効果ガスの排出量削減目標を定める「パリ協定」が採択されました。パリ協定はSDGsの達成にも重要な役割を果たすことが期待されています。

パリ協定に基づいて、日本政府は2030年までに2013年度比で26%の排出量削減を掲げましたが、この達成のためには産業界の削減努力も不可欠です。当社では、エネルギー転換や省エネ活動により、2017年度までに着実にCO₂排出量を削減してきました。

*COP21:国連気候変動枠組条約第21回締約国会議



環境にやさしい紙素材の供給

近年、使い捨てプラスチック製品が生態系を含めた海洋環境への影響の一因になるとして、紙製品が注目されています。北越グループではスプーンやマドラーといった紙カトラリーの原紙を生産しています。



当社の紙を利用した紙製スプーン



紙製マドラー



持続可能な原材料調達

紙・パルプの生産に欠かせない木材原料。北越グループでは、持続可能性の確保や生物多様性の保全を担保するために、グループ会社における植林活動や森林認証制度の活用を通して、安心して使用できる木材原料の調達をおこなっています。現在、当社で調達する木材チップは96%が輸入植林木、残り4%が国内の里山二次林木です。これらのチップはすべて、FSC®認証チップまたはFSC®から認証チップに混ぜて使用することが認められた管理木材チップのいずれかの原料となっています。



責任ある森林管理のマーク



南アフリカのグループ会社植林地周辺の様子

Hot News

新チップ輸送船「スノーカメラ」が就航

2018年9月に当社グループの新チップ船「スノーカメラ」が就航しました。さまざまな省エネ技術が採用されたエコシップ型で、従来のチップ船に比べ15%の低燃費を実現することが可能です。載貨重量が60,360t、船倉容積が430万立方フィートを有する国内最大級の大型チップ船で、当社グループが輸入調達するチップの輸送能力もアップします。



新しく就航したチップ船は、経済安全保障の観点から日本政府が推進している日本船籍の増加方針に応えるため、当社で初めて日本船籍とし、母港を新潟港といたしました。また、船名は、2019年1月に新潟開港150周年を迎えることや新潟工場へ製紙原料を供給する役目を担うことを踏まえ、新潟県の木である「ユキツバキ」にちなみ「スノーカメラ(SNOW CAMELLIA)」と命名いたしました。新チップ船は、チリでチップを積み込んだ後、2018年11月に新潟港へ初入港しました。

新チップ船「スノーカメラ」

KINKON 豆知識

時代とともに繁栄 新潟開港150周年

江戸時代に北前船の寄港地として栄えた新潟港は、日米修好通商条約締結によって1869年1月1日、開港5港のひとつとして世界に向けて開港された歴史ある国際貿易港です。

新潟港は、主に旅客と貨物を運ぶ「西港」と、外国からのコンテナ貨物を主として取り扱う「東港」に分かれています。

当社では、輸出品全体の8割以上を東港から輸出しており、グローバル化をすすめる当社にとっては欠かせない重要な拠点となっています。

2019年に開港150周年を迎える新潟港では、現在様々な記念事業がおこなわれており、当社も協賛しています。

これからも当社発祥の地である新潟県のさらなる発展に貢献してまいります。



新潟開港150周年ロゴ

Hot News

Al-Pacが25周年を迎えました

カナダでパルプを製造するグループ会社「Alberta-Pacific Forest Industries Inc.(Al-Pac)」が2018年9月1日に商業生産開始25周年を迎え、従業員とその家族約500名を招待し、記念式典を執り行いました。ビデオプレゼンテーションでは、25年間の歩みを振り返り労をねぎらいました。今後も主力のパルプ製造販売事業のみならず、再生可能電力販売、バイオメタノール製造事業の拡大に加えて、セルローズナノクリスタル(CNC)の製造技術開発等の新規分野にも積極的に取り組み、お客様や従業員をはじめとしたすべてのステークホルダーとともにさらなる成長を遂げてまいります。



会場の様子

編集後記

本号の表紙では、新潟港が開港150周年を迎えることに合わせ、新しく就航したチップ船によって新潟と世界が繋がる様子をイラストに描きました。新潟港が開港5港のひとつだったということを知らなかった方も多いのではないのでしょうか。鎖国後の日本の国際貿易に貢献した新潟港は、150年経った今、北越グループにとっても原料の輸入と製品の輸出をおこなう重要な貿易港となっています。

この通信誌の用紙にはミューマット-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.10



[発行]

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500 FAX:03-3245-4511

<http://www.hokuetsucorp.com/>

2018年12月発行